



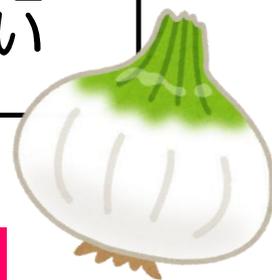
## 【 利用者の方からの質問 】

(原文ママ)

- ①玉ネギが大きにならない(11月に植えた)
- ②土の肥料(やせた山土です)で堆肥、元肥、追肥のやり方が知りたい



## 【 豊嶋さんからの回答 】



①この冬は特に乾燥が厳しいですから週にいちどくらいはしっかり水をやってもいいのかもしれませんが。特に早生の玉ねぎは早く葉を大きくしておかないと球が大きにならないうちに葱坊主が出てきます。もみじ3号やネオアースのような中晩生品種は今は葉が大きにならなくてもかまわないのですが、近所の玉ねぎ名人に伺ったところではやっぱりこれだけ乾燥したら水はやったほうがええとのことでした。

②保水力と保肥力を上げるためにまずはとにかく堆肥をたくさんやりましょう。できればバーク堆肥や腐葉土などの肥料分の少ない堆肥がいちどにたくさん投入しやすいので適しています。作付けの2週間以上前に散布してよく土と混ぜてください。保肥力がない畑では窒素やカリといった水に流れやすい肥料分をこまめに補給する必要がありますが、堆肥などの有機物のたくさん入った畑は肥料を保持しやすくなりますし、堆肥からもじわじわと肥料分が出てきます。

元肥はできればゆっくり効く肥料を植付や種まきの2,3日前までに施してこれもよく土と混ぜます。

追肥は速効性の窒素やカリがたくさん入った肥料を株元にバラバラとまきます。根が広がっていますから土と混ぜる必要はありません。ただし水がないと肥料が溶けませんから、土が乾燥しているときはあわせて水やりもしましょう。

